

第77号 通巻14巻第4号

1994年12月1日 発行

守山市立埋蔵文化財センター

☎ (0775) 85-4397

〒 524-02

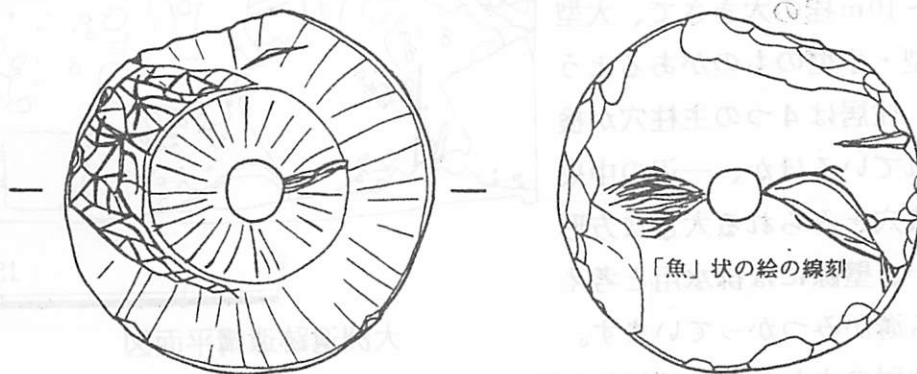
守山市服部町2250番地

「魚」が線刻された紡錘車を発掘

1. 伊勢遺跡第28次調査

区画整理工事に先立ち発掘調査を実施している伊勢遺跡で、今回「魚」と考えられる絵が線刻された滑石製の紡錘車（糸に撚をかけるはずみぐるま）が発掘されました。紡錘車は上端径2.6cm、下端径4.9cm、厚み1.4cmの大きさで、表面は丁寧に研磨されています。上端面に放射状の刻線、側面は放射状の刻線を切って、直弧文状の線刻が施され、さらに下端面は直径6mmの軸穴をはさみ、相対するような形で「魚」状の絵が2体描かれています。紡錘車に鋸齒文（鋸の歯のような文様）が線刻された例はありますが、今回のように絵を線刻するものは全国的にも珍しいといえます。

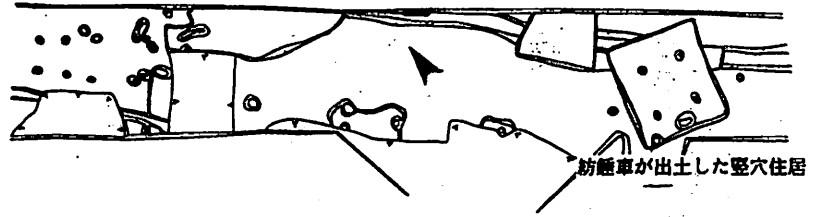
紡錘車が出土した竪穴住居からは6世紀前半代の須恵器片が出土していることから、紡錘車の年代もこの頃に考えられます。 （担当 小島）



紡錘車実測図 (S = 1/1)



紡錘車



紡錘車が出土した竪穴住居

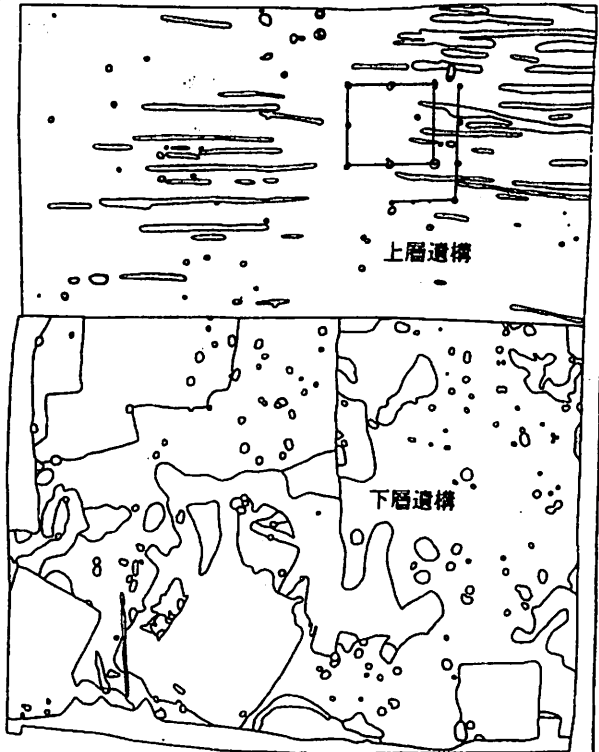


伊勢遺跡F-1区遺構平面図

Ⓜ 調査中 Ⓜ

2. 大洲遺跡第5次調査

10月中旬から阿村町地先で宅地造成工事に先立ち、約2,200㎡を対象に発掘調査を実施しています。現在その半分を平面検出して、遺構の掘削を開始したところです。その結果、上層で鎌倉時代の掘立柱建物、下層で弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居6棟と柱穴多数がみつかっています。竪穴住居は一辺が4~10m程の大きさで、大型・中型・小型のものがあります。住居は4つの支柱穴が検出されているほか、一辺の中央に貯蔵穴とみられる大きな方形の穴が、壁際には排水用と考えられる溝がみつかっています。



上層遺構

下層遺構



大洲遺跡遺構平面図

この住居のまわりからは無数の柱穴が検出されていて、掘立柱建物がかなりの数建てられていたと考えられます。しかも、この柱穴を切って竪穴住居がつけられていることから、竪穴住居よりも古い時代の遺構と考えられます。

今回の調査地は標高99mと伊勢・大洲遺跡のなかでも標高の高い地点に

あたっています。地山は礫層となっていて、遺構の埋土も石のほうが土よりも多いという現場です。遺構掘削にもたいへん時間と労力がかかり、道具もすぐに痛んでしまう状態です。当面は現地で石と礫と格闘していますので、時間がありましたら見学にきてください。（担当 伴野）

3. 笠原南遺跡の調査

守山北中学校の北西約300mの地点で大規模店舗建築に先立ち、約5,000㎡を発掘調査しています。今回の調査地では事前に行った試掘調査の結果から、洪水で埋もれた水田跡が2～3面あることがわかっています。現在はその最も上位にあたる室町時代の洪水で埋もれた水田跡を調査しています。検出された水田跡は冬から春にかけての田んぼが乾燥している時期に洪水を受けたと想像され、田面には唐鋤^{からすき}で荒起こしをした跡や牛の蹄跡^{ひづめ}が多数残っていました。また、一隅を周囲の田んぼより小高くした小区画^{おこ}がみつかり、稲苗を育てる陸苗代^{なわしろ}ではないかと思われる場所もありました。

調査は今後さらに下層の古い時期の水田調査を進めます。昔の農耕風景をかいま見ることができまので、近辺通過の際には気軽に声をかけて下さい。（担当 川畑）

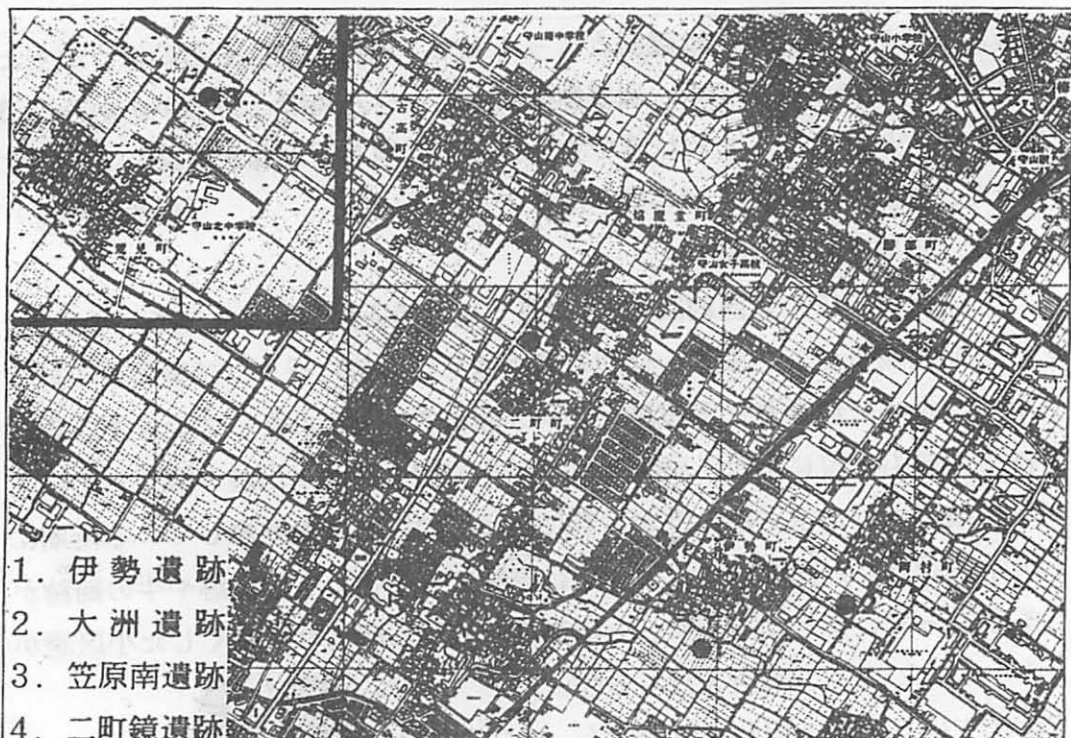


牛の蹄跡写真

4. 二町鏡遺跡第7次調査

10月下旬から物部小学校の約100m南側で、宅地造成工事に先立ち発掘調査を実施しています。現在、調査面積約1,000㎡のうちの約半分を調査中で、14世紀代の屋敷跡を検出しています。屋敷地は堀状の溝によって囲まれており、一部に整地を行った痕跡があります。屋敷地内部からは東側に^{ひさし}庇を設けた3間×2間以上の主屋と考えられる掘立柱建物跡や井戸跡がみつかり、っています。

平成2・3年度の調査（北側に隣接する都市計画道路の調査）でも今回のものと同じような屋敷跡が4区画以上みつかり、横江遺跡の中世村落と同じく溝で区画されたいくつもの屋敷地が接続するような村の形態が考えられます。（担当 岩崎）



1. 伊勢遺跡
2. 大洲遺跡
3. 笠原南遺跡
4. 二町鏡遺跡

発掘調査位置図

☆ 平成6年度秋季特別展終了 ☆



平成6年度秋季特別展「木器—古代における木の利用」も11月6日をもって終了いたしました。今回の特別展は木器だけを扱ったとてもユニークなもので、古代生活の中で木がどのように利用されていたかを理解するために企画したものです。期間中約300人の見学者が来館され、熱心に展示品に見入っていました。中には古代人の木工技術の高さに驚きの声をあげる見学者もいたようです。

☆ 埋蔵文化財センター特別講演会のお知らせ ☆

市立埋蔵文化財センターでは下記の内容で特別講演会を開催いたします。

記

と き 平成7年1月24日(火) 午後2時～3時30分
 ところ 守山市立埋蔵文化財センター 2階会議室
 演 題 「日本人のルーツ」
 講 師 山田 献一氏(元滋賀県立農業短期大学教授)